

新型インフルエンザ  
MERS（中東呼吸器症候群）  
SARS（重症急性呼吸器症候群） 等  
感染症対策

# 感染防止衣の消毒・除染 リユースマニュアル

2016年3月 第1版

株式会社タムラテコ

社外秘資料 当書類の取り扱い注意

# はじめに

## 1：導入の経緯

<オゾン発生装置導入経緯>

オゾンは、自然界に存在する気体で、太陽の紫外線によって空気中の酸素から生成され、街中、海辺、森林などでよく晴れた日差しの中には0.01-0.04ppm程度のオゾン濃度が測定される。

オゾンは塩素の約7倍、フッ素に次ぐ強力な酸化力を持ち、その酸化力で脱臭、除菌、脱色、有機物分解などに利用でき、使用後は自然に分解( $O_3 \rightarrow O_2$ )され、残留性がない環境にやさしい気体である。また、オゾン水もオゾンガス同様殺菌効果があり、すぐに酸素へ分解されることから人体への悪影響はないとされる。

さらに、ランニングコストはガスでは電気代のみ、オゾン水についても年1回のフィルター交換と低く、高い除菌効果が得られることから、当局の消毒システムとして導入する。

ただ、オゾンガスを面濃度、長時間吸入することにより人体に対して悪影響を及ぼすおそれがあるため、次のようにマニュアルを定めて運用する。

## 2：目的

このマニュアルは、オゾンガス、オゾン水を活用して市民、職員を新型インフルエンザ等のウィルス、細菌による感染から守るための消毒要領を示すことを目的とする。

## 3：適用

- (1) 救急車内、器具消毒、感染防止衣の消毒による再使用、救急隊員衣服等の消毒
- (2) 職員の洗顔、手洗い、うがい、仮眠室等室内消毒
- (3) BC災害時の除染として使用
- (4) 広域災害発生時の隊員宿泊所、応急救護所、避難所などの室内、社内消臭、消毒

# オゾン（水・ガス）による感染防止策

## オゾンガス・オゾン水による感染防止

---

### オゾンガスによる除菌

感染症（インフルエンザ、肺結核、ノロウイルス等）の疑いのある傷病者を搬送した場合

定期消毒(2回/月)

新型インフルエンザ対策本部が設置され、同本部から消毒指示がでた場合

インフルエンザに罹患した隔日勤務者が仮眠した仮眠室

血液、体液、吐物等で汚染された車内、室内など消臭が必要な場合

### オゾン水による除菌

血液、体液等で汚染した感染防護衣

血液、吐物、汚泥等で汚染した救急車内、ストレッチャー

傷病者に使用したLT（ラリングアルチューブ）、BVM（バッグバルブマスク）、喉頭鏡等の器具

汚染した作業服、毛布等の洗濯用水

BC災害の湿式除染用水（そのまま排水可能）

救急隊員の洗顔、手洗い、うがい用水

新型インフルエンザ流行期等職員の出退勤時の手洗い、うがい用水

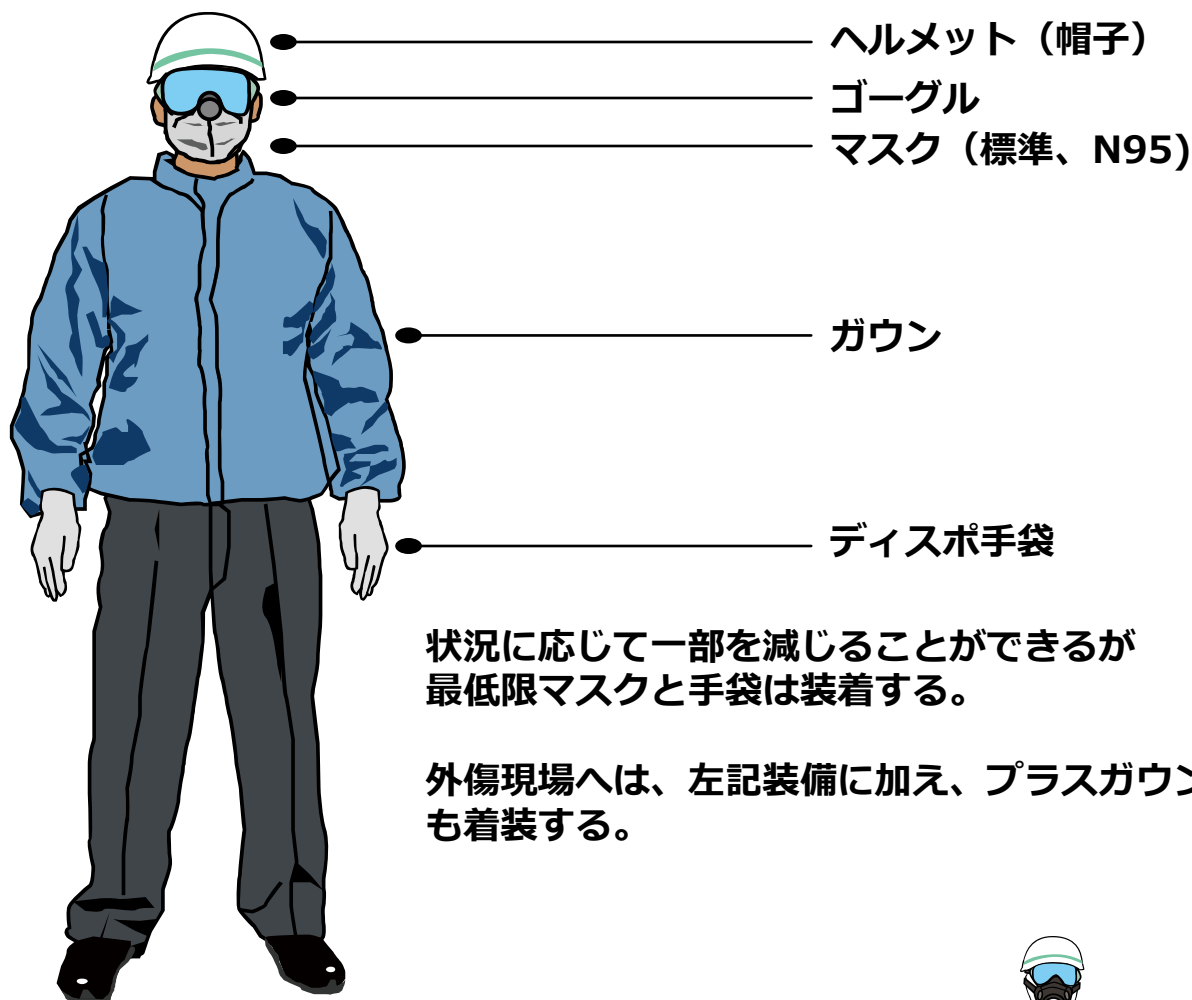
救急隊は、外傷現場、感染症が疑われる現場に出動する場合、標準的感染防止策を講じる。

# 感染防止衣の消毒による再使用

## 標準感染防止策

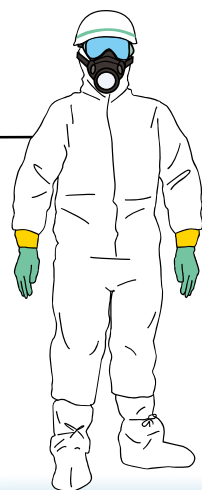
救急隊は、外傷現場、感染症が疑われる現場に出動する場合、標準的感染防止策を講じる。

### 救急隊標準感染防止策



## パンデミック時の感染防止衣

エボラウイルス等、感染力の高いウイルス・菌の発生や新型インフルエンザ流行時には、防護服を着用し、素肌の露出をなくしている。



より詳しいマニュアルについては  
お問い合わせいただきましたらすぐに公開させていただきます。  
お問い合わせ先：  
タムラテコ  
TEL：0120-038-904（フリーダイヤル）  
info@teco.co.jp